

県内経済 〈9月〉

概況

県内経済は、一部に弱さが残るが、全体として持ち直している

木材の生産は前年を下回って推移しているものの、電子部品は好調を維持しているほか、機械金属は前年を上回っている。建設は、公共工事が前年を下回ったものの、住宅着工は前年を上回った。個人消費は全体として持ち直しの動きとなっている。雇用情勢は改善の動きが足踏みしている。

産業別の動向では、電子部品の生産額は、車載、産業機器向けが好調を維持し、6か月連続で前年を上回った。機械金属の生産額は、輸送機械が回復傾向にあることなどから3か月連続で前年を上回った。木材の生産量は、普通合板（8月）が9か月連続で前年を下回ったほか、製材品も2か月連続で前年を下回った。公共工事請負額は、4か月ぶりに前年を下回ったものの、年度累計では前年を上回っている。地元大手（12社）の建設受注額は、官公庁工事が振るわず、2か月連続で前年を下回った。住宅着工は、秋田市でマンション着工（129戸）

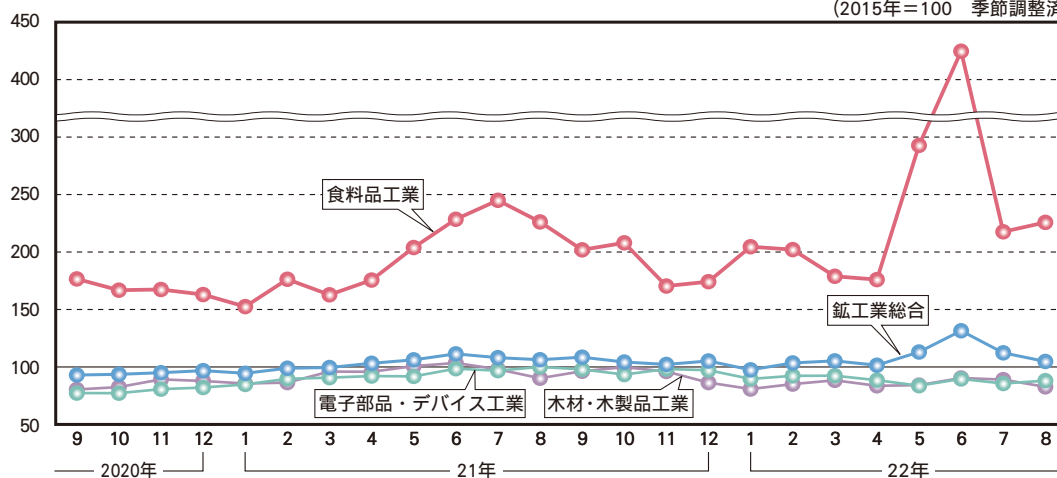
があり、5か月ぶりに前年を上回った。個人消費は、小売店販売額（8月）が2か月連続で前年を上回り、新車乗用車販売台数も半導体などの部品不足が改善傾向にあることから、2か月ぶりに前年を上回るなど、全体として持ち直しの動きとなっている。

有効求人倍率は前月比0.02ポイント低下の1.48倍となった。新規求人数は前年比8.2%減となり、8か月連続で前年を下回った。事業主都合離職者数は前年比44.9%減となり、3か月連続で前年を下回った。

企業倒産件数は1件、負債総額は3,000万円であった。

秋田県鉱工業生産指数の推移

(2015年=100 季節調整済)



資料：秋田県企画振興部調査統計課「秋田県鉱工業生産指数月報」

電子部品

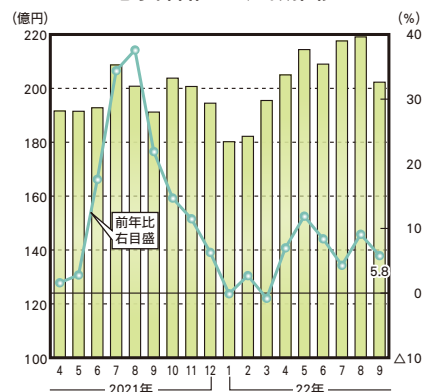
生産額、6か月連続で前年比増加

9月の生産額は前年比5.8%増となり、6か月連続で前年実績を上回った。

スマートフォンやパソコン向けは減少傾向にあるものの、車載向けは世界的な電気自動車（EV）の普及により需要が高まっており、産業機器向けも堅調に推移していることから、高水準が続いている。

その他品目別では、主力のセラミック・コンデンサやコイルは好調を維持しており、低迷が続いていた産業向け液晶パネルも増加傾向に転じている。一方、半導体素子は減少に歯止めがかかっていない。

電子部品の生産額推移



(当研究所調べ、県内4社)

機械金属

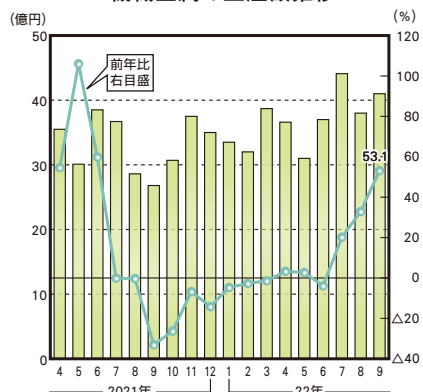
生産額、一進一退ながらも回復傾向

9月の生産額は前年比53.1%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。月別にみると、一進一退ながらも緩やかな回復傾向にある。

ウエイトの高い輸送機械は、半導体不足は続いているものの、欧州等で停止していた工場が再稼働されてきていることや、中国での生産活動が再開されたことなどにより、回復傾向にある。その他民需関連では、産業機械は堅調に推移しており、金型、建機部品は一進一退の動きが続いている。

公共工事関連では、橋梁・鉄骨は増加傾向が続いており、水道部品も高水準で推移している。

機械金属の生産額推移



(当研究所調べ、県内8社)

木材業

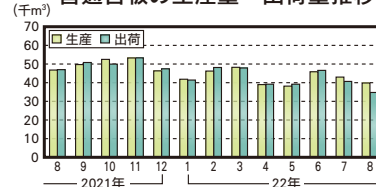
普通合板、製材品とも生産・出荷減続く

全国的に、持家需要が低迷し新設住宅着工戸数が伸び悩む中、原材料や製品の品薄感が緩和された一方で、荷動きは鈍化し生産量も減少、価格は軟化傾向にある。本県の普通合板、製材品の生産・出荷量も、前年を下回る推移が続いている。

8月の普通合板は、生産量が前年比14.8%減と9か月連続で前年を下回り、出荷量も同26.0%減と6か月連続で減少した。在庫量は同32.0%増と25か月ぶりに前年を上回った。

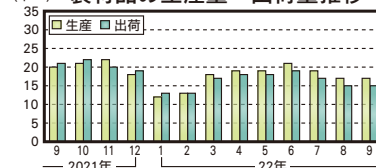
9月の製材品は、生産量が前年比15.0%減と2か月連続で減少し、出荷量も同28.6%減と9か月連続で前年を下回った。在庫量は同17.5%増となり、3か月連続で前年を上回った。

普通合板の生産量・出荷量推移



資料：秋田県農林水産部林業木材産業課

製材品の生産量・出荷量推移



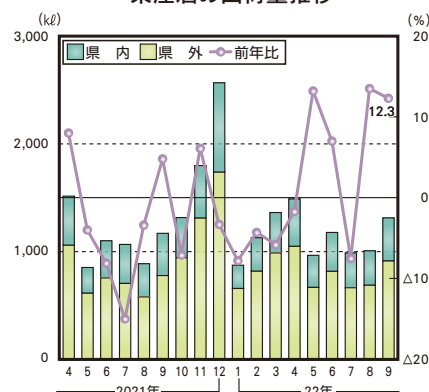
資料：農林水産省「製材統計」

酒造業

出荷量、2か月連続で前年比増加

9月の清酒出荷量は、前年比12.3%増と2か月連続で前年を上回った。業務用市場の需要が回復し、前月に続いて前年比二桁の増加率となった。出荷先別では、県内向けが同2.2%増となり、県外向けは同17.4%増となった。県外の主な出荷先別では、東京が同9.2%増となったほか、北海道は同22.7%増、東北5県も同32.0%増と大幅に増加した。種類別では、特定名称酒は同14.8%増、普通酒も同10.5%増となり、ともに前年を上回った。特定名称酒の内訳では、純米酒が同17.6%増、本醸造酒は同20.1%増、吟醸酒も同11.7%増となり、いずれも前年を大幅に上回った。

県産酒の出荷量推移



資料：秋田県酒造組合

建設業

公共工事 県が減少し、4か月ぶりに前年を下回る

9月の公共工事請負金額は、国等が増加したものの県が減少し、前年比11.6%減と4か月ぶりに前年を下回った。4月からの年度累計実績は前年同期比7.1%増となった。

一方、当研究所調査による地元大手12社の9月の新規受注額は、前年比22.8%減の1,268百万円となり、2か月連続で前年を下回った。うち民間工事は、同45.1%増ながらも受注額は低水準にとどまった。官公庁工事は、橋梁補修等の大口受注が複数あったものの、土木、建築とも前年実績を下回り、同30.9%減と振るわなかった。4月からの年度累計実績は前年同期比10.1%減となった。

公共工事前払金保証実績

(単位：件、百万円、%)

区分	9月	前年比	4～9月	前年同期比
件数	285	△12.3	1,696	△7.7
請負金額	10,251	△11.6	101,905	7.1

資料：東日本建設業保証㈱秋田支店

地元大手企業12社受注額

(単位：百万円、%)

区分	9月	前年比	4～9月	前年同期比
官公庁	1,014	△30.9	10,469	△1.4
民間	254	45.1	5,924	△22.3
合計	1,268	△22.8	16,393	△10.1

(当研究所調べ、県内12社)

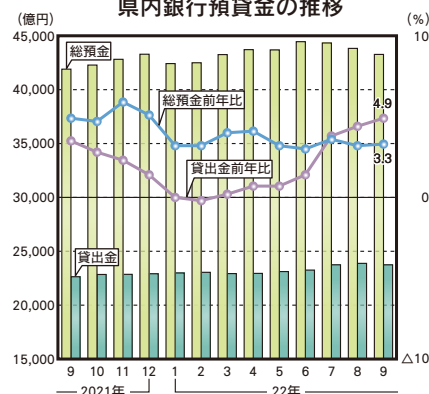
金融

貸出金、前年比増加率の拡大続く

9月末の県内銀行の預金は、前月末比560億円減少したが、前年比では3.3%の増加となった。貸出金は、前月末比137億円減少したが、前年比では4.9%の増加となった。預金、貸出金とも前年を上回って推移しており、特に貸出金の伸び率は拡大傾向にある。

9月の倒産件数(負債総額1千万円以上)は1件(前年比1件減)、負債総額は3,000万円(同89.3%減)となった。倒産件数は2012年11月以降119か月連続で一桁台または0件で推移している。負債総額は、負債額1億円以上の倒産が2件発生した前年同月との対比で大幅に減少した。

県内銀行預貸金の推移



資料：秋田県銀行協会

住宅着工

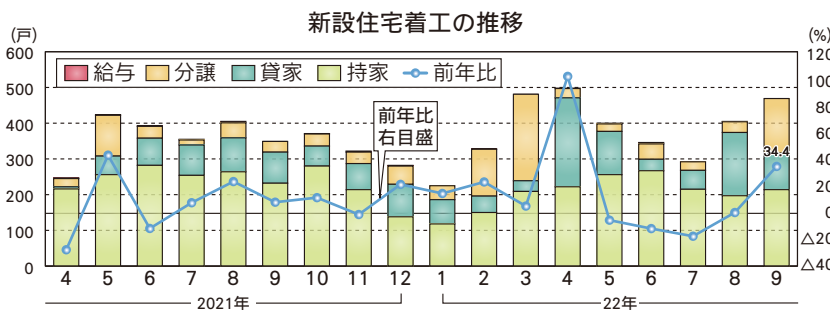
着工戸数、5か月ぶりに前年比増加

9月の県内新設住宅着工戸数は、469戸（前年比120戸増、34.4%増）であった。持家は減少したものの、分譲住宅が大幅増となったほか、貸家も増加し、5か月ぶりに前年を上回った。

利用関係別では、持家が214戸（前年比18戸減）、貸家が102戸（同15戸増）、分譲住宅153戸（同123戸増）、給与住宅0戸（同横這い）となった。

持家は、4か月連続で前年を下回った。貸家は、仙北地域、鹿角地域などで増加し、2か月連続で前年を上回った。分譲住宅は、秋田市でマンション着工（129戸）があり、2か月ぶりに前年を上回った。

地域別では、県北は持家、県央は貸家と分譲住宅の着工が各々増加し、前年を上回った。県南は持家の着工が減少し、前年を下回った。



資料：秋田県建築住宅課

住宅着工動向

(単位：戸、%)

区分	2022年9月		22年1~9月	
	前年比	22年1~9月	前年比	前年比
県北	91	1.1	499	△11.1
県央	307	72.5	2,249	23.1
県南	71	△12.3	696	△1.7
合計	469	34.4	3,444	11.2

資料：秋田県建築住宅課

個人消費

全体として持ち直しの動き

8月の小売店(商業動態統計主要6業態)販売額は、前年比2.8%増となり、2か月連続で前年を上回った。

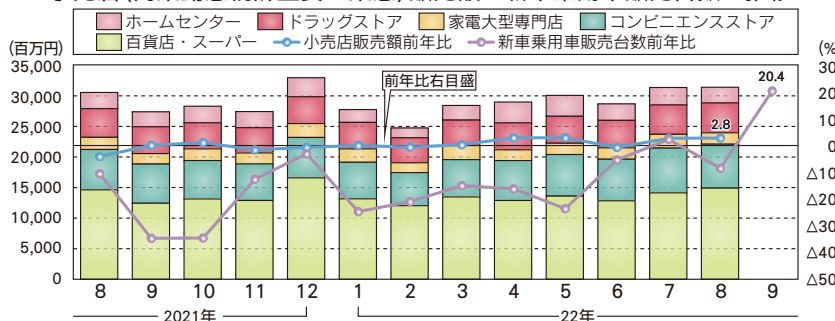
内訳をみると、家電大型専門店（前年比6.1%減）、ホームセンター（同3.0%減）は前年を下回ったものの、コンビニエンスストア（同8.8%増）、ドラッグストア（同4.0%増）、百貨店・スーパー（同1.9%増）は前年を上

回った。

9月の新車乗用車販売台数は、半導体などの部品不足が改善傾向にあることから、前年比20.4%増と2か月ぶりに前年を上回った。

内訳をみると、登録車が同24.6%増と16か月ぶりに前年を上回ったほか、軽乗用車も同14.9%増と2か月ぶりに前年を上回った。

小売店(商業動態統計主要6業態)販売額・新車乗用車販売台数の推移



資料：経済産業省、秋田県自動車販売店協会

9月の新車乗用車販売台数 (単位：台、%)

区分	販売台数	前年比
新車乗用車総販売台数	2,683	20.4
登録車	1,558	24.6
普通車	756	22.5
小型車	721	32.3
輸入車	81	△8.0
軽乗用車	1,125	14.9

資料：秋田県自動車販売店協会

県内個人消費関連指標(前年比) (単位：%)

区分	2022年6月	7月	8月
①消費者物価指数	3.7	4.2	4.3
②勤労者名目賃金	△5.4	△2.4	△0.6

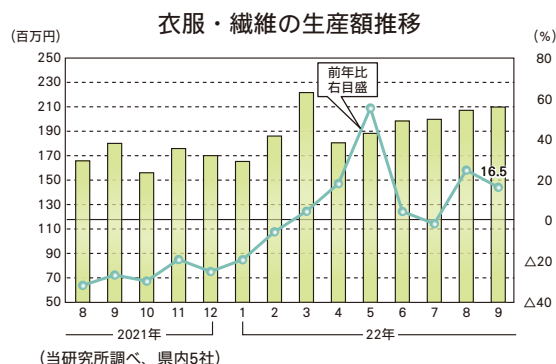
資料：①秋田県（総合指数、秋田市）
②秋田県（事業所規模5人以上）

衣服・繊維

生産額、2か月連続で前年比増加

9月の生産額は、前年比16.5%増となった。前年の新型コロナウイルス感染症拡大にともなう百貨店休業等による減少からの反動増などにより、2か月連続で前年を上回った。

受注は、婦人服などが好調に推移しており、6か月連続で前年を上回った。



雇用

改善の動きが足踏み

9月の有効求人倍率(季調値)は、前月比0.02ポイント低下の1.48倍となった。常用の内訳では、一般は同0.03ポイント低下の1.52倍、パートは同0.01ポイント上昇の1.30倍となった。

新規求人数は前年比8.2%減となり、8か月連続で前年を下回った。産業別にみると、製造業は同6.5%増となった。「繊維」、「電気機械器具」で減少したものの、県北地域で操業開始を予定している企業から大口求人があった「木材・木製品」などで二桁の増加率となった。非製造業は同10.1%減となった。全国旅行支援の開始に伴い「運

輸、郵便」などで増加したものの、建設資材不足や価格高騰などの影響により「建設」で6か月連続の減少となったほか、その他の業種も前年を下回った。

新規求職者数は前年比4.4%減と、2か月連続で前年を下回った。

事業主都合離職者数は前年比44.9%減と、3か月連続で前年を下回った。

地域別雇用状況(パートを含む常用)をみると、新規求人数は県北で増加したものの、県央、県南で減少した。有効求人倍率は県北が最も高く1.87倍、県央が1.36倍、県南が1.26倍となった。

業種別・新規求人内訳および新規求職者数(全数)

区分	2022年8月		9月		
	前年比	前年比	前年比	前年比	
新規求人計	7,656	△7.9	9,033	△8.2	
製造業	1,161	27.9	1,207	6.5	
主要業種の内訳	食料品	179	16.2	196	24.1
	繊維	157	12.1	155	△35.1
	木材・木製品	60	53.8	131	87.1
	電子部品・デバイス・電子回路	282	66.9	189	52.4
	電気機械器具	94	38.2	68	△13.9
	情報通信機械	14	180.0	11	57.1
	非製造業	6,495	△12.2	7,826	△10.1
	建設	1,042	△6.2	1,158	△21.5
	情報通信	46	△2.1	19	△72.9
	運輸、郵便	293	△24.1	384	25.1
卸売、小売	1,197	△17.7	1,370	△5.6	
宿泊、飲食サービス	534	△16.3	1,050	△0.9	
生活関連サービス、娯楽	254	△3.1	188	△40.7	
医療、福祉	1,446	△9.9	1,681	△13.8	
サービス	884	△2.6	1,176	0.3	
新規求職者数	3,152	△1.7	3,354	△4.4	
有効求職者数	14,813	△1.4	14,602	△2.8	

資料：秋田労働局職業安定課
(注) 臨時・季節を含む

有効求人倍率および事業主都合離職者数

区分	2022年6月 7月 8月 9月				
	前年比	前年比	前年比	前年比	
有効求人倍率	一般	1.48	1.52	1.55	1.52
	パートタイム	1.11	1.21	1.29	1.30
	全数(季調値)	1.50	1.49	1.50	1.48
事業主都合離職者数	前年比	175	106	89	113
	前年比	24.1	△58.8	△30.5	△44.9

9月の地域別雇用状況(パートを含む常用)

区分	新規求人数		有効求人倍率	
	前年比	前年比	前月比	前月比
県北	2,065	7.7	1.87	0.11
県央	4,225	△14.9	1.36	△0.01
県南	1,631	△17.6	1.26	△0.10
合計	7,921	△10.6	1.44	△0.01

(注) 臨時・季節を除く